

ジャパン柔道整復師会通信

[季刊誌]

2026年 冬号 | Vol.41

新年のご挨拶

特集

エリア交流会報告

コラム

知らなきゃ損する
交通事故対応コラム

\\pickup!//

ジャパン新スタッフ紹介



2026年冬号発刊のご挨拶

2026年最初のジャパン柔道整復師会通信をお届けいたします。

本年も本誌を通じて、会員の皆様にとって実務に役立つ情報を発信してまいりますので、ご愛読のほどよろしく願いたします。

2025年は、柔道整復業界にとって大きな転換点となる一年でした。

長年使用されてきた健康保険証からマイナンバーカードへの移行がいよいよ本格的に実行され、現場では戸惑いや試行錯誤を重ねながらの運用が続いたことと思います。

受付対応の変更、患者様への説明、システムや機器への対応など、日々の施術業務に加え多くのご負担があった一年だったのではないのでしょうか。

一方で、この変化は避けられないものでもあり、柔整業界が次のステージへ進むための重要なプロセスでもあります。

制度が変わるたびに現場の負担が先行しがちではありますが、だからこそ正確な情報を早期に把握し、落ち着いて対応していくことがこれからの院運営には欠かせません。

私たちジャパン柔道整復師会は、これまでもお伝えしてきた通り、

「情報は待つものではなく、自ら取りに行き、正しく理解するもの」

という姿勢を何より大切にしています。

制度改正や運用変更が続く時代だからこそ、会員の皆様が安心して日々の業務に集中できるよう、実務目線での情報整理と発信を今後も強化してまいります。

2026年も、会員の皆様とともに悩み、考え、乗り越えながら、

整骨院業界の持続的な発展に貢献できる存在であり続けたいと考えております。

本年もジャパン柔道整復師会を、どうぞよろしく願いたします。

ジャパン柔道整復師会スタッフ一同

こんなとき、どうする!?
知らなきや損する
交通事故対応コラム

渋谷アケア法律事務所
弁護士 諸賀 孝明



質問

保険会社の弁護士費用特約を使って自分で信頼できそうな弁護士さんをお願いしようと思ったら保険会社から弊社指定の弁護士でなければダメだと言われました。そんなことあるのでしょうか？

回答

そんなことはございません。弁護士特約の規定上自分で選んだ弁護士にお願いすることは可能です。自動車保険についている弁護士特約は、弁護士費用を保険会社が負担してくれる保険となっており、よく誤解される方が多いのですが、弁護士特約を利用して支払う保険料が上がることはございません。弁護士を入れると保険会社との交渉を弁護士に一任できるので患者様は治療だけに専念することが可能となります。

また、弁護士特約は保険名義人(自己)以外の親族や同乗者も使えるようになっていきます。なお、弁護士特約は上限が300万円までとなっており、その上限を超えることがあるかと心配される方がいらっしゃるのですが、いわゆる整骨院に通院するケースでそのようなことはほとんどございません。

弁護士特約に加入している場合はその保険料を毎月負担していただくから事故にあった場合に使わないと毎月の保険料が勿体無いかと思います。

また、整骨院への通院を希望する患者様が弁護士を選ぶ場合においては、単に交通事故に詳しいというだけでなく、整骨院の通院に関する特有の論点を精通している弁護士を選ぶのがオススメです。

エリア交流会 参加会員様の声

例年のセミナー形式とは異なり、今年度のエリア交流会は「交流」に重点を置いて開催されました。4会場それぞれで、立場や地域を越えた対話が生まれ、参加会員の皆さまからは多くの気づきや前向きな声が聞かれました。本記事では、実際に参加された会員様のインタビューを通して、交流会で得られた学びや想いをご紹介します。

北海道エリア

北海道 手稲ゆうき整骨院 上林先生

「自由に話せる場が、次の一歩につながる」



▲飲み屋街に立地し、飲食店勤務の方の来院が多い治療院。ワンオペで無理なく、自分に合った規模感を大切にされている。

——院経営について、大切にしている考え方を教えてください。

以前は口コミを広げるために、本を読むなど積極的に学んでいました。ただ、目標を持ちすぎると自分が辛くなってしまいうこともがあるので、今は日々の小さな積み重ねを大切にしています。長期的には、「気づいたら高い位置に立っている」ような状態が理想ですね。

——今回の交流会についてのご感想をお願いします。

今回の交流会は、自由に情報交換ができる雰囲気がとても良かったと感じました。以前参加した交流会ではグループごとに固まりができてしまい、疎外感を覚えたこともありましたが、今回は誰でも話に入りやすく、形式ばらずに参加者同士が自然と会話できる点が印象的でした。

——最後に、今後の交流会に期待することがあればお願いします。

「店舗を貸し切って開催する」「お酒を飲みながら交流できる場にしたい」など、よりリラックスできる形式も良いと思います。そうした工夫が、さらに交流を深めるきっかけになるのではないのでしょうか。



関西エリア

和歌山 なかつね整骨院 森川先生

「客観的な視点と交流が、地方での一人治療院経営のヒントになった」



▲人口規模の限られた地域で一人治療院を運営。客観的な視点を取り入れ、地域に合った経営を大切にしている。

——今回の交流会を通じて、特に印象に残ったことを教えてください。

多くの方と交流できたことがとても良く、大きな励みになりました。参加者同士だけでなく、スタッフの皆さんともお話しできたのが印象的でした。率直な意見交換ができる場は、やはり貴重だと感じます。

——ご自身の院について、今後取り組んでみたいことはありますか。

まずは、自分が整骨院の先生として患者様からどのように見られているのかを知るため、アンケートを取ってみようと考えています。これまで感覚的に捉えていた部分を、あらためて可視化してみたいですね。

——最後に、今後の交流会に期待することがあればお願いします。

経営や考え方の共有だけでなく、技術的なテーマについても、交流会の中で取り上げてもらえたら嬉しいです。実技や技術の話ができる場があれば、さらに学びが深まると思います。

九州エリア

大分 ひのり整骨院 長谷部先生

「自分らしい経営の形を、改めて確認できた時間」



▲広告に頼らず、自分に合ったベースで運営する治療院。交流や学びを通じて、経営スタイルを磨き続けている。

——今回の交流会に参加された理由を教えてください。

昨年参加した際に非常に学びが多かったため、今年も参加しました。実践的な話が多く、自身の取り組みを振り返る良い機会になると感じています。

——今回の交流会を通じて、気づいたことはありましたか。

MVV（ミッション・ビジョン・バリュー）について、これまでは難しく考えすぎていましたが、皆さんとの会話を通じて「自分なりに、すでにできているのかもしれない」と気づきました(笑)

——現在、力を入れて学ばれていることはありますか。

別府市が推進する「別府温泉 新湯治・ウェルネス」セミナーに参加しています。「健康大国」とも言える地域特性と、整骨院事業をどのように掛け合わせられるか、その可能性を模索しています。

——最後に、交流会の感想をお願いします。

今回は人数が少なかった分、じっくり話ができ、多くの気づきを得ることができました。とても有意義な時間だったと感じています。



東京エリア

東京 イアス整骨院 大石先生

「会って話せるからこそ、元気をもらえる時間」



▲常に情報収集のアンテナを高く持ち、AIなど新しい知識も積極的に学び、取り入れている。

——例年のセミナー形式とは異なり、今回は交流に特化した形式でしたが、いかがでしたか。

いつものセミナー形式もとても勉強になりますが、普段はワンオペで院を運営しているため、同業の先生方と話す機会がほとんどありません。そういう意味で、今回のように直接交流できる場はとてうれしかったですね。セミナー形式については、昨年行われた総会のようにオンライン開催にしてもらえると、より参加しやすと感じています。

——交流会に参加していただいている理由を教えてください。

会長に会いに来ています(笑)会長とお会いすると、不思議と元気が出るんですね。

——今後、ジャパンに期待することはありますか。

ジャパン LOVE でジャパンからの情報も参考にしていますが、それ以外にも常に情報収集のアンテナを高く持ち、新しい知識や動向を積極的に取り入れるようにしています。最近では、業務効率化の観点から AI に関する学習にも取り組んでいます。ワンオペで院を運営しているからこそ、限られた時間の中でいかに効率よく作業を進め、時間を生み出していくかが重要だと感じています。あとは、レセコンが音声入力に対応したらもっと楽になるのになあ...なんてことも考えています(笑)

2026年度の開催につきましても、ぜひご期待ください。



NEW スタッフ紹介

はじめまして。令和7年11月よりジャパン柔道整復師会の入金管理課に入社しました片桐と申します。10月までは同部署でパートスタッフとして勤務しておりました。

入金管理課の業務は各保険者から正しく入金されているか等のチェック、保険者への問い合わせ対応や融資を受ける会員様の手続き、精算等の業務を主に行っております。

11月からはお問い合わせ対応もさせていただいております。会員様の今のお困りごとは何なのか、それを解決できる様にしっかりとお話を聞くこと、内容を確認することを意識しながら対応させていただいております。ご利用明細書の見方だけでなく、申請書の同意日の記載や近接部位についてなど先輩方の対応を隣で聞きながら、勉強させていただいている毎日です。

まだまだ至らない点も多くご迷惑をおかけいたしますが、会員様にもご指導ご鞭撻をいただけますと幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



ご入会ありがとうございます。

新たにジャパン柔道整復師会にご入会された皆様

中国 / 四国 / 九州

2件

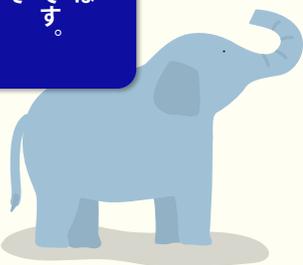
北海道 / 東北

2件

関東

4件

次号の発行は
4月の予定です。
次号もどうぞ
ご期待ください！



昨年末から全国各地で熊の出没が相次ぎ、「ニュースで目にする機会がとて多い年明けとなりました。」
「干支は動物で決められているけれど、熊はいないんだな」と、ふと思議に感じ、「そもそも干支はどうやって決められたのだろう？」と調べてみました。どうやら干支はもとも時間や方角を表すための仕組みに、後から身近な動物を当てはめたものだそうです。調べてみたものの、あまりピンと来ない由来でした。
2026年がスタートしましたが、昨年から年明けにかけて、各地でエリア交流会を開催いたしました。多くの先生方にご参加いただき、会場は終始活気にあふれていました。制度対応の話から院運営の工夫、日々のちょっとした悩みまで、率直な意見交換が行われ、改めて「顔を合わせて話す場」の大切さを感じています。
この時期は寒さに加え、空気の乾燥も気になる季節です。体調管理はもちろん、忙しさの中で、目のクマ、ができていないか、ご自身の体調管理にもどうぞお気を付けてお過ごしください。

編集後記 編集担当 二瓶